

「苦登校」をとらえる 不登校は問題行動じゃない！

増加している不登校
今年度は新型コロナウイルス感染症による臨時休業に始まり、教科書の内容を教え切ろう、既定の人数を確保しようという動きの中で、子どもたちが楽しいと思える学校となっていないのだから、というところを痛めていく方も多くなっています。「学校に来ることが苦しい子どもたちが増えているのではないか」と同僚の先生と話すことがありませんか。北海道の不登校児童生徒の数は、道教委のホームページには毎年増えているそうです。小学校の不登校児童生徒数は、昨年度は七千五百四十四人でこの五年間で、五倍となっています。

不登校前の「苦登校」
先日、北海道教育大学札幌校の平野直己先生の「不登校の理解と対応」という講演を聞くことができました。その講演によると、「学校不適応型」の不登校が増えているという話でした。学校不適応型の不登校には、学校に行かなくなる前に「苦登校」という時期があるのだそうです。学校に来るときは元気に見えるけれど、帰宅したらぐったり疲れている。休んだとしても、学校で授業している時間帯は気持ちが落ち込み放課後になると元気になる。外に遊びに行くこともできる。こんな風に学校のリズムに合わせ

気持が浮き沈みする中で何とか登校しているのが「苦登校」です。コロナが「苦登校」により、がんばって登校していた子どもたちが学校に行かなくてよくなり、毎日とても疲れている自分に気づいてしまった、ということです。

「ゴールは再登校じゃない」
「不登校の履歴を持つ人も、素外普通の大人になっている」というのがこの講演の最初の言葉でした。道教委は、いじめや暴力行為などの「問題行動」のカテゴリから不登校を外しました。不登校は問題行動ではなく、ただという事です。人生の中で

一度もつまずかない人はいません。誰だって失敗することはあります。大事なのは、失敗から立ち上がり方を知っているということ。不登校とは、生きていく上での「つまずき」の一つで、そこから立ち上がる方法を知る機会と捉えることよという事です。不登校のゴールは再び学校に通えるようになることではなく、社会のネットワークの中で生きていけるようになること。人生を楽しむようになることです。

教師としては、登校してほしいと思うこと、そこへの働きかけをしたいのは当然です。しかし、マニュアル的ではなく、子ども

や保護者に寄り添い、つまずきから立ち上がった社会の中で生きていくために

めの手立てを一緒に考えていけるとよいですね。

私の職場を紹介！

幌延小学校

幌延小学校は、今年度組合員数8名でスタートしました。休業期間中、コロナ禍でも子どもたちのために私たちができることを話し合いながら、学校再開への準備を進めてきました。その中で、子どもたちが大きく成長する学校行事を、コロナを理由に取りやめるのではなく、工夫しながら何とかできる方法を考え実現することを大切にして取り組んできました。ここまで遠足、水泳授業、宿泊学習、運動会、修学旅行、学芸会と、決して順調に…とは進みませんでしたが、みんなでコロナ対策のための知恵を出し合ってやり遂げてきました。今年度最後の行事、卒業式はできるのか。今から心配は尽きませんが、子どもたちのために分会から職場の連携を繋ぎ、力を合わせて頑張ります！



編集後記

2021年が始まりました。今年もよろしくお願いいたします。
再び緊急事態宣言が発出され、感染力の強い変異型のウイルスがみつかりました。北海道は新規感染者が減少傾向にあるとはいえ、油断はできません。
この1年、子どもたちも先の見えない中で大きなストレスを抱えて過えています。私たちは教育のプロとして、子どもを中心に据え、学校づくりをしていきたいと思います。

宗谷の「先生」をつなぐ
月刊誌「soya」2020.12/2021.1

発行日 2021.1.16
発行 宗谷教職員組合
発行人 古川 正史
〒097-0004 稚内市緑2丁目4-21 宗谷教育会館
220162-22-2480 メール info@soya-teachers.org

私のおすすめ

青森の郷土料理
貝焼き味噌

青森出身の私がおすすめたのは、郷土料理の「貝焼き味噌（かやぎみそ）」です。子どもの時分、風邪を引いたりなんかするとよく薬味で作ってくれたものです。
作り方はとっても単純。まずは鍋代わりのホタテ貝の貝殻に水を入れて火にかけます。そこに鰹節や小口にしたネギを多めに入れて出汁を取ります。濃いめに味噌を溶き、卵でとじたらできあがり！ご飯のお供に最高です！……えっ？そもそもホタテの貝殻が家にないって？青森では貝焼き味噌用のホタテの貝殻が常備されているものなのですが……。青森の様々な地方で作られているようで、下北地方にある嫁の奥家ではホタテやアワビ、旬の食材なんかも入って煮込むそうです。（驚！）まあ、もちろん小鍋を使って代用は当然可能です。その場合は「卵味噌」と呼ばれる料理となります。ただ、不思議なもので、貝焼き味噌の方がおいしく感じますので、今度ホタテの刺身を作ったときには殻も取っておいでみてくださいね。

【潮見が丘小学校 菊地 大】



12/1

2020 december/2021 january vol.7
宗谷管内の魅力いっぱい情報誌
毎月無料で机上にお届け！

宗谷の「先生」をつなぐ月刊誌 Soya

教科書が変わります。
「苦登校」をとらえる 不登校は問題行動じゃない！
授業づくりの玉手箱の「定時運動のための仕事術」
私のおすすめ「貝焼き味噌」
私の職場を紹介！ 幌延小学校

教科書が変わります

—2020年度に小学校、2021年度に中学校—

今年度、小学校で新しい教科書の使用が始まりました。教科書会社が変更になったのは、算数、社会、地図帳、図画工作です。そして新しく英語の教科書が採択されています。中学校は令和三年度から新しい教科書の使用が始まりました。中学校で教科書会社が変更になったのは国語、書写、数学、社会、英語、美術、家庭です。中学校の先生方はこの冬休み中に新しい教科書を読み込んだ、という方も多いのではないのでしょうか。宗谷教組として数名の先生方に教科書会社が変わった教科書の使い勝手を聞きました。

どうやって教科書は決まるの？

宗谷管内の十市町村では「第八地区教科用図書採択教育委員会協議会」という会(委員は各市町村の教育長を構成し、教科書の調査・研究および採択を共同で行っています。実質的に調査を行うのは「第八地区教科用図書調査委員会」で、こちらは管理職を含めた現役教員、教育関係者で構成されています。調査委員会

が調査・研究した資料と教科書会社と道教委がそれぞれ作成している資料を参考にしながら協議会が最終的に採択します。

小学校の先生方の声

小学校では前述した通り、三つの教科(十地図)で教科書が変更になっています。どの教科書会社も学習指導要領と教科用図書検定基準等をもとに作成されていますが、各会社によって軽重に違いがあったり、説明のニュアンスが違っていたりして創意工夫がされています。

算数

数については、編習問題など、以前の教育出版より難しくなっている「高学年についているところもある」「小学校の算数で、多くの子どもたちが引っかけやすい単位の学

習量が少ない」という声が上がっています。社会については「算数ほどの『いずさ』はない」という声があるものの、これまで使われてきた教育出版は北海道生まれの会社で、ポイントごとに北海道の内容が欄外または特殊ページで取り上げられていたが(アイヌやシャクシャインなど)、その手厚さが減ることが残念だ、という意見が出ています。

中学校の先生方の声

中学校も小学校と同様に、教科書会社が変わる教科の先生方に今の気持ちを聞いてみました。

国語

国語は、会社が変わるが変わります。中学校は教科担任制であるために、毎年同じ教材を研究してきた積み重ねがあるからこそ、今の目の前の子どもたちに合った授業展開を行うことができる、と言った声も聞かれました。会社がかわると教材、つまり物語や説明文などがガラリと変わり、ゼロから考え直すことになりました。「しっかりと今から準備をしていくように頑張ります」という声でした。

と、そしてやはりこちらも小学校と同様で、アイヌのことが少し難に感じる...という意見がありました。英語も表現の仕方、使われる単語がこれまでの教科書より難しく感じるという意見がありました。しかし「教科書が変わる」ということよりも、小学校で教科として外国語を学ぶことになった影響が大きいかもしれません。小学校の学習内容の復習も含め、単語だけで二〇〇語、さらに連語表現も含めると覚えることが多くなることが心配だという声がありました。

教科書が変わる。変化することしないこと

小学校では教科書会社が変わったことで勝手に違い、戸惑っている様子が伺えます。中学校ではこれから変わることの不安がありました。慣れ親しんだものが変わることの影響は小さくありません。しかし、授業は教科書で行うのではなく、「教科書を使って行う」ものです。どの教科書会社を使うにしても、目の前の子どもたちにとってわかりやすい授業にしていけるとはわかりません。この単元では何がポイントなのか、子どもたちが理解するために、どのような手立てが必要なのか、教科書では一時間分になっているところを二時間かけることもあるでしょう。また逆もしかりです。学校全体で確認している、目指す子ども像に向けて、力合わせを積み重ねていくことが求められています。

宗谷のオンラインで、リアルで。さまざまなツールで仲間とつながる

この一年間、窓際対策、学校づくり、集うことへの意欲... 私たちは分岐点を乗り越えてきました。教職員組合運動も、そうでした。

「コロナ禍」といわれるようになって、もうすぐ一年が経ちます。

宗谷の、オンラインも駆使しながら、宗谷の、そして、さらに、全国の、皆さんの、仲間と力合わせを進めましょう。

コロナ前の時代、私たちは、宗谷の距離感を、集うことの楽しさを、話っていました。

決して、喜ぶべきことではありませんが、私たちは、オンラインという距離感を、乗り越える方法を、手に入れました。

オンラインも駆使しながら、宗谷の、そして、さらに、全国の、皆さんの、仲間と力合わせを進めましょう。

授業づくりの玉手箱 定時退勤のための仕事術



変形労働時間制が話題に上がる中、自分自身の働き方について考えることがあります。そんな中、早い退勤を心がけ、家族を大切に、日頃から趣味を楽しんでいる潮見が丘小学校の阿部竹志先生に、働き方についての質問を試みました。

Q どうして早く退勤できているのですか？

A 仕事に軽重をつけ、人に甘える!学年のパートナーとは、仕事を分担し、「お互い様」を躊躇せず迷惑をかけ合っています。それも、仕事のスリム化には大切なことと考えます。また、限られた時間の中で仕事をやりくりするために、必然とやることを絞って取り組んでいます。あと、夫婦としてバランスを考えて仕事をしています。男だから女だからというのではなく、子どもは2人で見ると、だから、お迎えなども分担して行っています。そのためには、働き方を工夫することが必要だと考えています。

Q 子どもたちとの関係を良好に築くことも私たちの働き方に直結しますが、子どもたちと向き合う上で大切にしていることはなんですか？

A 子どもたちとは、人として向き合うことを大切にしています。また、とにかく、褒める!褒めることでその子の良さを伸ばし、子どもの課題が薄まることがたくさんあります。

阿部先生とお話していると、自分の家族や生活を守るために、働き方を大切にしなければならないのかがひしひしと伝わってきます。みなさんはどんなことを働き方で大切にしていますか？

全教共済を取り扱う道教組共済会では、今年度から2つのキャンペーンをスタートさせました。メロンキャンペーンとみかんキャンペーンです。「絶対に損をしない」総合共済に職場内で新たに2名加入するとメロン1玉・みかん1箱を貰えるというものです。宗谷管内では稚内東小学校と枝幸小学校で達成し、枝幸小学校はメロンとみかん

LINE相談受付中!

のダブル受賞でした!今年度のキャンペーンは終了しましたが、来年度も同様に行われる予定です。まだ未加入の方、ぜひメロンみかんをゲットしましょう!(達成した場合はすでに加入している方も含めて全員が買えます!)
2月からは全教共済の春募集が始まります。生命共済・医療共済・傷害共済の募集です。どこよりも安い掛け金で安心の保障です。安いのですが、制限があります...それは教育関係者(学校や保育所などに勤務している・していた方)であること、そして加入で

きる期間が限られている共済があることです。上記の3つの共済はこれに当てはまりません。「相談してみようかなと思うけど、相談する時間がない」とお悩みの方はいらっやいませんか?現在、宗谷教組ではLINEを使って相談を受け付けています。相談は24時間OK、返信は少し遅れるかもしれませんが、いつでも相談できるところが大きなメリットです!ぜひ登録をして相談してみませんか?もちろん従来通り電話でも受け付けていますよ。

